

\*\*\*\*\*  
**貧酸素情報**  
 \*\*\*\*\*

鹿児島県水産技術開発センター  
 平成30年9月19日(水)

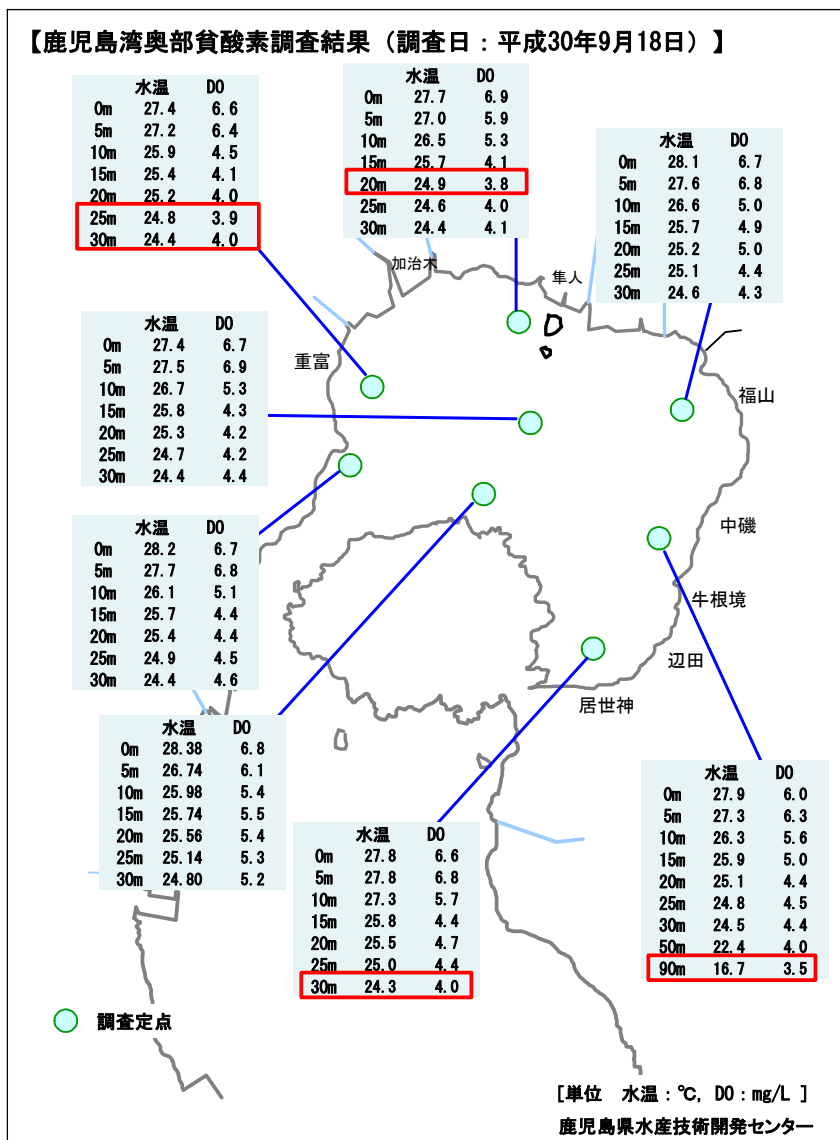
鹿児島湾 貧酸素情報 No.1

[1] 9月18日の調査結果

- (1) 貧酸素水塊の状況  
 30m以浅において4.0mg/Lを下回る貧酸素水塊が湾奥の3定点で確認されました。
- (2) 赤潮生物の出現状況  
 有害種は通常検鏡では確認されませんでした。
- (3) 海況  
 表層水温は27.2~28.5℃で平年よりやや高め、塩分は30.5~32.5で平年並み、透明度は5.5~8.5mで平年よりやや高めとなっております。  
 水温：平均 27.8℃ 湾奥部 27.9℃ 湾中部 27.7℃  
 塩分：平均 31.5 湾奥部 31.2 湾中部 32.3  
 透明度：平均 6.7m 湾奥部 6.4m 湾中部 7.8m  
 (平年値は平成元~29年の9月下旬の平均値)

[2] 今後の貧酸素水塊の予想

湾奥の30m以浅で貧酸素水塊が確認されました。今後、10月下旬までは、中層付近で現在のような貧酸素水塊が継続、さらに進行する可能性があるため、注意が必要です。



(注意事項)

- 給餌の際、魚群が遊泳すると、貧酸素層の海水が表層まで浮き上がるおそれがあります。
- 過去、溶存酸素が4.0mg/Lを下回った状況での給餌で、へい死事故が発生した事例がありますので、注意が必要です。
- 給餌の前には、必ず溶存酸素量を確認し、餌食いの状況を見て、無理な給餌を避けた方がよいでしょう。

赤潮情報（携帯電話）：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報（パソコン）：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

